

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

習志野市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 大久保東小学校)

6年国語科:「川とノリオ」:

○学習内容の再確認

ユーザーローカルという感想を集約するアプリを使って、キーワードを共有・分析(テキストマイニング)することで学習内容の再確認ができています。

○ダウンロードファイルの加工防止の工夫

ファイルは編集されないようにPDF化して Teams からダウンロードさせている。

○タブレットは自由に活用

漢字や意味などちょっとしたことを近くの人に説明したり相談したりする「学びあい学習」が徹底しており、不明なことを自分で調べたりタブレットを文具のように活用できている。

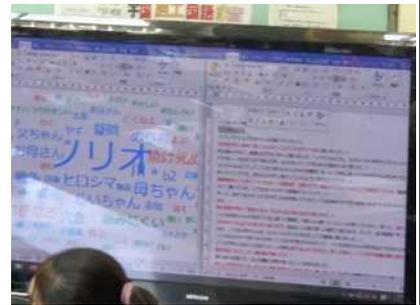
○タブレットは限定的に活用し本来の教科の指導を重視

授業の中で不明なところがあると、群読・個人読みに戻って読みを再徹底するなど読みの目的を明確にして活動させており、子供の発表も「教科書の～」と根拠がはっきりした発表ができることにつながっている。

○ワードのテキスト要約で子供の感想の共有も実現

○端末入力とノートの指導を組み合わせることで思考の言語化をめざす

ノート指導の継続でノートに感想をまとめる活動も「自分の言葉で」よく書きこむことができています。



2. 中学校の学習における活用方法 (学校名: 第三中学校)

2年社会科:「天下統一を目指して」:

○既習事項の確認

教師用デジタル教科書の写真、地図等の資料をモニターに拡大提示しながら既習事項について生徒に言わせることで、学習内容の定着を確かめることができています。

○板書への集中のさせ方

黒板で一斉学習を行う際はモニターを消すなど生徒の集中のさせ方も工夫している。

○学習事項の確認

要所所で NHK for school の動画を視聴させ、学習内容の確認やまとめをしたのも興味意欲が増す指導。また、動画は見せたい場所がすぐに再生されるよう用意しているため授業に間が空くことがない。

○本時のまとめの工夫

タブレットは本時のねらいについてエクセルファイルを共有ファイルにして全員で意見を書き込ませる活用。個人でエクセルに入力した後は班で意見を共有する活動を取り入れたことで思考の整理分析ができています。

